

3月定例会

3月定例会は3月6日から13日までの8日間の会期で開かれ、条例・補正予算・平成26年度当初予算など報告1件、議案31件について慎重に審議し、議案1件を除く案件が賛成多数で可決・承認しました。

活発な討論で住民負担増を 斎場使用料修正可決 軽減

◇町長の給与の特例に関する条例

町長 トップとして道義的責任で提案したので理解いただきたい。

議員 懲戒処分後の公平性を維持するための審査会であり、審査会の意見を町長が受け入れないで道義的というのはおかしいのでは。

反対討論

外山正利議員

町長も内部規定の理解が希薄であり、処分に対して一貫性がないので反対する。

賛成3人、反対7人
により否決

◇町職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例の一部改正

議員 職員の懲罰を1年に延ばすだけでなく、外部識者を入れて公平性のある審査会にすべきである。

町長 審査会には4月中旬に外部識者を入れる。

◇消費税率の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

議員 180万円の増収となつてはいるが、これ位であれば上げなくとも良いのでは。全体での増収額は。

総務課長 利用者負担が原則であることから引き上げる。

地方消費税の交付を入れ合計で2,036万円になる。

どこに配慮した政策のある対応をすべき。

町長 消費税率部分だけの改正なので理解いただきたい。

反対討論

平野勝澄議員

町民の負担が増えるという点、納税義務がない会計で値上げすることは反対である。

賛成討論

外山正利議員

国の消費税法案が通つたことから、現実的に対応しなければならぬので賛成である。

賛成9人、反対1人
により可決

◇斎場使用条例の一部改正

議員 50%の値上げは大

きい。5,000円増の理由は。使用料はどのくらい増収するのか。

町民課長 大規模改修が12、3年おきに1000万を超える。燃料の高騰も踏まえ、値上げに踏み切らざるを得なかった。年間200件、72万5千円ほどの増収を見込んで

※議員より修正動議の申し出があり、原案の町内13歳以上15,000円を13,000円に、13歳未満13,000円を10,000円に、住民負担の増加幅を抑えた修正案を可決。

○その他の議案

◇監査委員の選任

松田英雄氏の退任により選任

真室川町大字釜淵 824番地28 大友 宏氏

◇水道事業の設置等に関する条例の一部改正

◇水道事業及び病院事業の剰余金の処分等に関する条例

◇秋山牧場設置及び管理に関する条例の一部改正

◇道路占用料徴収条例の一部改正

◇企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する条例

◇農業基盤整備促進事業費分担金徴収条例

◇教育振興修学資金貸付基金条例の一部改正

◇青少年問題協議会設置条例の一部改正

◇文化財保護条例の一部改正

◇辺地総合整備計画の変更

◇町道の路線変更

◇平成25年度一般会計・特別会計補正予算

◇平成26年度一般会計・特別会計

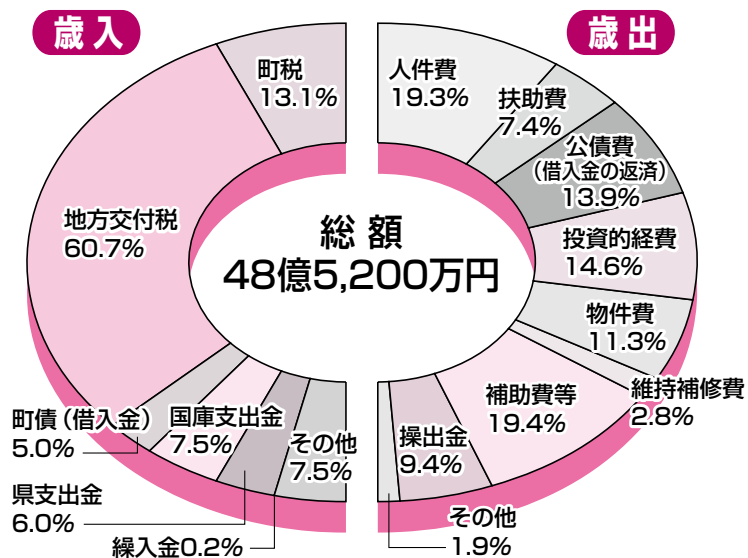
(予算審査特別委員会での審議P3、4参照) 以上、賛成多数により可決

ほ場整備事業3地区で動き出す

一般会計
特別会計

予算総額 **82億円可決**

◇一般会計予算の構成



新庄湯沢地域間高規格道路

問 及位インター設置の可能性や道路建設の進捗状況と、1月に実施されたアンケートの結果について問う。

建設課長 山形県下でアンケート調査を行っている。及位地区は町内の北はずれのため、

町民の関心がうすく、回答が少ないようである。国土交通省からは、アンケートの回収がどこおつているとの助言があった。その他の情報は入っていない。

乗り合いタクシー

問 特に自ら運転できない方、病院に通う、

買い物に出たいという方の希望に添えるやり方など、乗り合いタクシーの試行運転の方法は。

企画課長 町民が等しく公共交通機関を利用できるような体制を整備する。週一回程度高齢化に対応する実証運行として実施する。

13地区で想定しており、各地区に事前の登録、予約制をとり往復する。運賃はタクシーの初乗り運賃と同額と考えている。

環境王国推進交付金

問 「一定基準を得た米」とはどういう基準か。1俵500円だと7千俵くらいになるがその基準は。もっと増やしてはどうか。

産業課長 さらなる良食味・良質米の生産地として国内に誇れる

きい。5,000円増の理由は。使用料はどのくらい増収するのか。

町民課長 大規模改修が12、3年おきに1000万を超える。燃料の高騰も踏まえ、値上げに踏み切らざるを得なかった。年間200件、72万5千円ほどの増収を見込んで

◇平成26年度一般会計・特別会計 (予算審査特別委員会での審議P3、4参照) 以上、賛成多数により可決

山大キャンパス事業

問 山形大学と地域づくりなどを研究してもらう山大キャンパス事業をしているが、広く他大学をも受け入れる考えは。

教育課長 「まざれや」を中心に町の振興策を地域とも研究していく。25年度から卒業生を含めた組織として地域支援をしてもらっている。現在は評価があるので山大を中心にしていくが、他団体、大学と機会があれば検討をしていく。

企画課長 山形大学との共同研究として今までも秋山牧場でのTMR、SGSの研究、及位中学校の廃校舎の利